

令和3年度 畑地かんがい技士登録資格認定者が決定しました

令和3年度畑地かんがい技士養成講習会は、10月25日～10月29日の5日間、東京都港区の農業土木会館で開催し、最終日の10月29日に登録資格認定試験を実施しました。

この試験の結果をもとに、11月26日に畑地かんがい技士認定委員会（委員長 土居邦弘畑地農業振興会 会長）を開催し、登録資格認定の審議を行い下記の方々を登録資格認定者として決定しました。

また、認定者の中で特に成績の優秀な2名の方々に、畑地かんがいの振興や技術の向上に貢献された故大島一志博士を記念して設けられた大島賞を贈りました。その努力を讃えるとともに、今後のさらなる研鑽を期待します。

■ 令和3年度 畑地かんがい技士登録資格認定試験合格者受験番号

R3A-1、R3A-2、R3A-3、R3A-5、R3A-6、R3A-7、R3A-8、R3A-9、R3A-11、R3A-13、R3A-17、
R3A-19、R3A-20、R3A-22、R3A-23、R3A-24、R3A-26、R3A-27、R3A-32、R3A-33、R3A-34、
R3A-37、R3A-38、R3A-39、R3A-40

■ 今回認定されなかった方は、次回以降実施の畑地かんがい技士養成講習会を再受講、または資格認定試験のみを再受験することができます。

本年の受験者は38名で、認定者は25名、認定率66%となっています。総得点で満点の60%以上を認定基準としましたが、出題14問中1問でも基準点以下の得点があった場合には不合格としました。本年の基準点は0点です。

なお、本年の満点は1300点ですが、最高点は1164点、最低点は489点、平均は852点となっています。問題別にみた場合、高得点者は各問題とも偏りなく高い得点率を示しているのに対し、不合格となった受験者は、総得点が合格ラインに達している受験者を含め、全員が計算問題で低得点となっていました。また、基準点以下の得点があった問題はすべて計算問題であり、基準点以下の得点が1問題でもあった受験者は他の計算問題も低得点である傾向がみられました。

今年認定されなかった受験者の半数以上は、計算問題で得点が得られれば、認定基準に達することができますので、再受験をされる方は、苦手とする計算問題について克服されることを望みます。

（ご注意）

畑地かんがい技士登録を希望される方は、登録申請必要書類(当会より合格者へ送付)をご記入の上、当会宛に郵送願います。本認定試験に合格しただけでは畑地かんがい技士として登録されませんのでご注意ください。

登録証交付日は、3月1日及び10月1日となっています。なお、登録の申請期限は1年以内です。